

辺野古を絶対

1 座り込みへの参加は...

まずは那覇空港を目指してください。そこからはバス又はモノレールで那覇バスターミナルへ。バスターミナルから沖縄バス名護東海岸系統第77番に乗れば辺野古に着きます。時間で言うと那覇空港から3~4時間、費用は3000円ほど。

2 座り込みを続ける皆さんへ カンパのお願い

現在も辺野古では、漁港入口から、「命を守る会」事務所前に場所を移して座り込みを継続中です。新たに持ち上がった「沿岸案」を絶対に阻止するための継続したカンパが必要です。何卒、御協力をお願いいたします。(カンパ額、累積合計1,733,205円 これらのカンパは、●ヘリ基地反対協議会●命を守る会へ送っています。みなさんの御協力に心から感謝いたします。)

郵便振替口座

00960-6-77258

加入者名: 辺野古に基地を絶対つくらせない大阪行動

3 大阪で私達と 一緒に行動して下さい。

- 私達は毎週土曜日の15:30~17:00まで、JR大阪駅周辺で街頭行動を行っています。
- 月一回この行動を持続、発展していく為のミーティングをしています。
- ポーリング調査の即時中止と基地建設の白紙撤回を求める署名にご協力ください。署名用紙は大阪行動のホームページよりダウンロードできます。(署名の累計は16,415筆)

辺野古に基地を絶対つくらせない大阪行動
osaka_henoko@yahoo.co.jp
http://www.geocities.jp/osakakoudou/

毎日更新される下記のサイトから辺野古の状況がわかります。
ちゅら海をまもれ! 沖縄・辺野古で座り込み中!
ジュゴンの家 http://blog.livedoor.jp/kitihantai555/
晋くんの辺野古日記 http://www47.tok2.com/home/dugong/
http://diary5.cgiboy.com/2/henokonikki/

『Marines Go Home』(マリンス・ゴー・ホーム)を見て、あの激しいヤグラでの闘いを見て、私もあの場所にいた二人として、なぜ、

なぜ、基地建設を 止めたいと思うのか。

みなさん、こんにちは。私たちは、「辺野古に基地を絶対つくらせない大阪行動」といつて毎週土曜日の15時半~17時まで、JR大阪駅前で辺野古についてのビラを配り、カンパを集め、基地建設反対の署名を呼びかけています。私たちが、なぜ、大阪でこのような行動をしているのか...。そこには、「私たち」とひとくくりには語りきれないメンバーそれぞれの思いがあります。でも、その上で、辺野古の基地を絶対につくらせないために、聞いてほしいことがあります。

私をそこまで駆り立てたのは、「日本の安全保障のため」「どこかの国の脅威があるから米軍基地は必要」などという言葉をはるかに超える

のです。私たちはここまで抵抗したのだから、どこまで涙をおさえることができずして。あの場所で大勢で襲ってくる屈強な作業員政府に雇われている業者を前に、恐ろしさに震えながらも、例え不条理にヤグラが組み立てられようとも、それでも何回でも体をはって足場板にしがみつき、つなぎ合わせられようとする単管に手をのぼし、押さえつけられても歯を食いしばって抵抗した自分がなぜいたのか、改めて思うのです。これは、何も特別な人たちがやっていたことではありません。一人の人間として、この状況はおかしい!と、その意志を体をはって表した、全身全霊をこめて誰もない自分自身のこととして、米軍基地がつくられることに、「NO!」を示した姿だと思ふのです。

4月7日、辺野古につくられようとしている米軍基地の飛行ルートが、住宅地にかからないようにするため「新沿岸案」が名護市長と政府の間で合意されました。しかし、こんな騙しだましの計画が、住民たちの命を守るものではないことは明らかなのです。それにも関わらず、これに「合意した」と言われ、その根本である基地そのものの撤去を口にさせない状況をつくっているのは、一体、誰なのでしょう。か。このことこそ、私たち二人ひとり、考えていかなければならない問題だと思ふのです。大阪でやる

強さをもった辺野古のおじい、おばあとの出会いでした。権力者のタワゴトに左右されることのない自分自身と、自分たちの手でつくっていく明るい未来を信じたいと心底、思ったのです。

なぜ、沖縄がこれほどまでに 苦渋を極めた決断を 迫られなければならないのか。

このまま、私たちが今の状況・政府を許し続ければ、辺野古の闘いは一層、激しさと危険を極めます。そんなことをさせないために、絶対に基地をつくらせないために、この輪に加わっていただきたいのです。みなさんのできるどんな形でも構いません。今こそ、一人ひとりの声を合わせるべきなのです。どうか、この声が多くの人に届き、辺野古の基地建設を止める大きなパワーとなりますように。みなさんの力をかしてください!

ことの意味とは、これまで傍観者でしかなかった私たちが、今こそ自分の問題として、沖縄に悲鳴を上げさせ続けている状況を止め、「日本の安全保障のため」「どこかの国の脅威」などと言わせない、軍事力に拠って立たない未来を、主体的に生きていくことにあるのではないのでしょうか。辺野古が投げかけているのは、「それぞれの町でこそ、闘ってほしい。自分たちの問題として、自分たちの足元から政府を変えてほしい。」ということなのです。



毎週、辺野古のことを 訴えています。

声を上国 げから